

22日 火曜

ルカ

22:63 さて、イエスの監視人どもは、イエスをからかい、むちでたたいた。

22:64 そして目隠しをして、「言い当ててみる。今たたいたのはだれか。」と聞いたりした。

22:65 また、そのほかさまざまな悪口をイエスに浴びせた。

22:66 夜が明けると、民の長老会、それに祭司長、律法学者たちが、集まった。彼らはイエスを議会に連れ出し、

22:67 こう言った。「あなたがキリストなら、そうど言いなさい。」しかしイエスは言われた。「わたしが言っても、あなたがたは決して信じないでしょうし、

22:68 わたしが尋ねても、あなたがたは決して答えないでしょう。

22:69 しかし今から後、人の子は、神の大能の右の座に着きます。」

22:70 彼らはみなで言った。「ではあなたは神の子ですか。」すると、イエスは彼らに「あなたがたの言うとおり、わたしはそれです。」と言われた。

22:71 すると彼らは「これでもまだ証人が必要でしょうか。私たち自身が彼の口から直接それを聞いたのだから。」と言った。

イエス様の苦しみは十字架を負う前から始まっていました。目隠しの状態でむちでたたかれるという屈辱を受けられたのです。議会ではイエス様を訴える口実や証拠を求めていました。これに対してイエス様は、ただ御自信が神であることのゆえに、その真理を語ったに過ぎませんでした。 「これでもまだ証人が必要でしょうか。」というほどの決定的な証拠になったのです。



つまりイエス様は神であるということではばかれたということになります。神を信じない人はこのように、神御自身をさばくことになってしまいます。神をいつわり者とするからです。

私たちもかつてはこの議会の一員のようにであったことを思い、厳かに救いを感謝しましょう。またここまでして十字架の道を進んで行かれたイエス様の愛に感謝しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

